

JCwave

(社)浜松青年会議所 広報マガジン
魅力ある地域の創造をめざし!

Hamamatsu [はままつJCウェブ]



2009
AUTUMN

対談

ホームページもぜひご覧ください!
<http://www.hamamatsujc.or.jp/>

浜松JC

検索



ジュビロ磐田 浜松JC
中山雅史氏 & 望月聖之 理事長

6月度公開例会事業報告
移動オーケストラ教室事業報告
サンシャインフェスティバル事業報告
はままつ歌劇団公演のご案内



Hamamatsu JC Wave 2009 Vol.3

【はままつJCウェブ】 〒430-8608 浜松市中区東山町1-1 浜松青年会議所 4F 電話:053-454-6721 FAX:053-454-3563 E-mail:hamamatsujc@hamamatsujc.or.jp

JCI 社団法人浜松青年会議所



心の底から
笑っていますか?

あたりまえを
ありがとうございます。

笑顔の

チカラ

大切な人を
想いながら...

2009 はままつ歌劇団公演

演目
怪傑三太丸
10月24日^土

第1公演 開場 13:30・開演 14:00
第2公演 開場 17:00・開演 17:30

会場 Uホール
(浜松市中区城北1-8-1/浜松市勤労会館)
前売券 500円/当日券 700円

【チケットご購入・お問合せ】
前売券販売期間/9月7日(月)9:00~10月16日(金)17:00
事務局/社団法人浜松青年会議所
TEL 053-454-6721 (月~金9:00~17:00 ※祝日を除く)
FAX 053-455-3563
e-mail hamakagekidan@yahoo.co.jp
http://yumehama.hamazo.tv/
●定員にむかひ次第の申し込みをさせていただきます。
●全席等身立席が少ないため、なるべく会員交通機関をご利用ください。
●お申し込みの際は、公演の一週間前までに事務局にご連絡ください。

はままつ歌劇団ブログ
<http://yumehama.hamazo.tv/>

<主催> 社団法人浜松青年会議所
<後援> 静岡県/浜松市/中日新聞東海本社/静岡新聞社/静岡放送/K-MIX/FM Haro/ケーブル・ウィンディ

編集後記

Editor's note

2009年度(社)浜松青年会議所誌「JC-wave」発行がはじまりました。4月から4月にかけて発行、年内と多くの事業が行われました。この次号は今年度の事業を実施すると発行して、次年度の誌面、発行も含めて青年会議所としては大変忙しい時期であると同時に重要な時期です。種々の困難も浜松青年会議所の魅力を発信できるよう努力して参ります。次号は来号11月発行予定です。

魅力あるJC発刊委員長 高野直史

魅力あるJC発刊委員会/高野直史、山本博史、鈴木雄太郎、藤岡真、野原大輔、佐藤英樹、大杉道史、橋本正史、杉山真樹、鈴木雅樹、中村浩、鶴川雄文、山内優治



JCとは 青年会議所(JC-Junior Chamber)は「明るく豊かな社会の実現」という理想と使命を持つ若い世代の人々を広く集め、友情を深めつつ、強く刺激しあい、創造し、あつて新たな時代への発展の可能性を自分達の手で積極的に創造し、青年の熱気から生まれる果敢な行動を鼓舞すべく組織された団体です。

次年度理事長決定!

8月8日(木)19:00～ グランドホテル浜松にて第28回通常総会が行われ、次年度第60期理事長予定者として(有)春華堂取締役副社長の山崎貴裕(やまざきたかひろ)君が選出されました。任期は平成22年1月1日～平成22年12月31日となります。

第60期理事長予定者 山崎 貴裕 君



事業報告『移動オーケストラ教室』

6月21日(日)15:00～ 浜松市立嶺山小学校(天竜区)にて第38回浜松交響楽団移動オーケストラ教室が開催されました。嶺山小学校の児童の皆さん、保護者の皆様、地域住民の皆様をはじめ多くの方が参加されました。生のフルオーケストラを身近に見られるだけでなく、全ての楽器の紹介、指揮者の体験など移動オーケストラ教室ならではの催しに多くの拍手があがっていました。

毎年浜松青年会議所は浜松交響楽団と共催で移動オーケストラ教室を開催しております。移動オーケストラ教室の開催にご興味がありましたら是非お気軽に浜松青年会議所までお問合せ下さい。



事業報告『SUNSHINE FESTIVAL 2009』

8月9日(日)11:00～18:00 遠鉄第一駅 南側に『SUNSHINE FESTIVAL 2009』が開催されました。ユナイテッドチルドレンのメンバーを中心に浜松市内の中高生も企画や当日の運営に携わる形で行われました。メインステージでは、地元出身のアーティストによるライブ、ダンス、浜松市内の高校生によるSchool Collection、ミニライブなどが行われました。サブエリアでは曜日毎の様々な企画、スイーツデコ作製体験、セグウェイ体験などが行われ、真夏の“熱い”一日となりました。ご協力頂いた学生の皆さん、本当にありがとうございました。



事業報告『6月度公開例会』

6月14日(日)16:30～18:00 アクアシティ浜松大ホールにて6月度公開例会～桑田真澄氏講演会『試験が人を磨く』が行われました。会場には浜松青年会議所メンバーを始め、一般の市民の皆様約1,600人以上が詰め掛けました。講演前の早い時間から長蛇の列ができ、桑田真澄氏への関心の高さがうかがえました。講演会では小学校入学時、誕生日が4月1日という早生まれのため苦労したことや高校入學時に清原和博さんに出会い、彼には敵わないと感じたこと、「表の努力」と「裏の努力」と「本物」を体験させてくれました。また講演前に控室でサイン色紙を数多く用意し、質問などに答えてくれた観客に感謝しながらの色紙を配り入れ合いを楽しむなど、本場にファンを大切にされる方でした。講演の最後にはサインボール抽選会が行われました。その際1,600枚の抽選券から桑田氏がユニフォームの背番号と同じ「NO18」を引き出したときは本場に会場全体が驚きの渦に巻き込まれました。

今後も桑田氏は日本の野球界をより良いものにするために様々な活動をなさる予定です。桑田氏の今後の活動にご注目下さい。



(社)浜松青年会議所 6月度公開例会～桑田真澄氏講演会『試験が人を磨く』には、多くの皆様にお越しいただきました。数々の困難を乗り越えられてこられた桑田氏の「目標を叶えるための手段＝努力には「表」と「裏」がある」などのお話はとても興味深々、小学生からお年寄りまで幅広い世代の方々が無邪気に耳を傾けていらっしゃいました。定義を違いに認めるお申し込みをいただいたため抽選とさせていただきますが、当日お越しいただいた皆様、お申し込みをいただいた皆様、誠にありがとうございました。

運営例会委員会 委員長 鈴木 美穂

事業報告『公開討論会』

8月11日(火)19:00～20:30 静岡文化芸術大学 講堂にて『衆議院選挙静岡県第8区公開討論会』が行われました。コーディネーターに静岡文化芸術大学 准教授 片山泰輔氏をお招きして立候補を表明している4名の候補者にご参加いただきました。多くの市民の関心の中1時間半という短い時間でしたが白熱した討論会となりました。討論会ではコーディネーターによる質問に順番に答えたり、他候補者からの質問にも答える形式の討論も行われました。財政両面、景気対策、地方分権、外交安全保障等の各政党の政策の違いが分かり、有権者にとって大変参考になる討論会であったと思います。日本青年会議所では全国の300小選挙区で同様の公開討論会の開催を掲げ、200を超える小選挙区で開催の運びとなりました。



事業報告『第3回献血推進活動』

7月19日(日)遠鉄百貨店前にて第3回献血推進活動が行われました。当日は103名の方に400ml献血をして頂きました。移動献血バスによる1日の活動で100名を超えることはなかなかないそうです。ご協力頂きました皆様ありがとうございます。また、8月12日(水)平成21年滋賀県献血推進大会において日本赤十字社有功賞銀色有功賞を受賞しました。この賞は献血推進に積極的な努力を行い、且つその活動が15年以上継続している団体へ贈られるものです。先輩方から受け継いだ情熱が、ここに實として実りましたので報告申し上げます。これからも献血推進活動を行って参りますのでよろしくお願い致します。



事業報告『7月例会 入会式』

7月9日(木)19:00~グランドホテル浜松にて7月度例会及び入会式が行われ、新たに8名の新会員が浜松青年会議所の仲間に加わりました。新入会員を代表して横橋孝保君が力強く挨拶を述べました。入会式の後には昨年日本JC専務理事で、大川JCシニアの成松広隆先輩をお招きし、「この時代を力強く生き抜くには、そしてJCがするべきこと」と題して講演して頂きました。



新会員募集

(社)浜松青年会議所では、2009年度の新入会員を募集しています。「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本は、地域の産業を担う若年層が人脈ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、新しい経済情勢のなかでも力強いリーダーシップを発揮できる「人材」を育てることにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい」と一念で会員拡大事業に取り組みしております。

JCってなに?
青年会議所は、活動の基本を「奉仕」「修練」「友情」に置き、会員は「明るい豊かな社会」を築き上げること、共通の理念としています。また会員相互の徳義と交誼を図り、公共心を養いながら、地域社会の発展と平和に貢献することを目的としています。

メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として青年会議所の誇りを誇って頂くことをお持ちしております。



JC入会のメリット
「仕事が忙しくて時間がない」と思っている方こそ入会によって得られるものは多いと言えます。社会人にとって時間のコントロールなど難しいものはありません。自分自身の使い方が上手なのを上手、さらに上手になるには簡単な方法があります。それは自分より上手な人に出会い、一緒に活動して学ぶことです。新たな自分の発見、よい影響を互いに与え合う人間関係。自分の仕事にフィードバックできる活動。そこにJCのよさがあります。

お問い合わせ先
(社)浜松青年会議所 会員拡大委員会
TEL:053-454-6721 FAX:053-455-3563
E-mail: room@hamamatsujc.or.jp

- 入会について**
- 青年会議所の目的と意義に共感し、自発的な参加と情熱を持っていること
 - 浜松市及びその一円に居住する満20歳以上40歳未満の若年層であること
 - 最低月1回開かれる例会と委員会出席できること
 - 健全な社会人としての教養と良識のある方で正常な事業に従事していること

入会費
<http://www.hamamatsujc.or.jp/>



事業報告『会員向けセミナー』



6月18日(木)19:00~21:00 グランドホテル浜松 飛鳥の間にあつきJAYCEE育成委員会6月度委員会事業「JAPAN PRIDE」~大好き日本~プログラムが行われました。トレーナーに、とらな青年会議所シニアの袴下正弘先輩をお招きしました。今回のセミナーでは、JAPAN PRIDE~大好き日本~をテーマに古くは古くは日本を振り返り、現在の浜松強いては今の日本文化とを照らし合わせ失われているものや、この先の将来に懸念していきたい良さ文化について全員参加型で話し合いました。様々な意見が飛び交う中、トレーナーの袴下先輩も浜松JCメンバーと一緒に会場を盛り上げて下さいました。浜松青年会議所ではこうした研修を受けるのは数年ぶりとのこと、参加した会員は多くの学びを得ることができました。

事業報告『わんぱく相撲県大会』

6月21日(日)御殿場市の高根ふれあい広場・中野館にて第18回わんぱく相撲静岡県大会御殿場場所が開催されました。あいにくの空模様となりましたが、全国大会出場をかけた白熱した取組が続き、浜松からの参加力士も健闘を見せました。

残念ながら全国大会の出場権は得られませんでした。汗と涙がしみこんだ土俵で子供達は普段では体験できない様々な事を学び事ができたと思います。



事業報告『JC青年の船 とうかい号』

6月14日(日)~6月21日(日)7泊8日の日程で第36回JC青年の船「とうかい号」が実施されました。とうかい号は東海地区の各青年会議所において20歳から35歳までの乗船者を一般公募し、浜松JCからは2名のメンバー、14名の一般乗船者が参加しました。洋上では様々な研修や今回の寄港地である台湾での活動、国際交流などを行いました。出港地となった名古屋には多くのJCメンバーが激励に訪れました。乗船者はどのようなことを感じたのでしょうか。一般乗船者の方に感想をお寄せいただきました。



一般乗船者 安藤純嗣さん(KONOIK Eco.株式会社)

この度、第36回JC青年の船とうかい号に乗船させていただきまして非常に貴重な体験をすることができ、多くのものを得ることができました。普段経験できない船上での非日常的な団体生活の中で「あたりまえのことへの感謝のこころ、思いやり、利他的心の大切さ」を感じ、寄港地・台湾での活動や日台関係や学ぶことによって「日本という国の素晴らしさ」を再認識し、また船内での自己啓発研修では「自分に係る全ての環境を作り出している原因は全て自分にある」という法則の意識付けの徹底が身に染みることができました。嵐のように過ぎ去った密度の濃い8日間でしたが、ここで得た数多くのものは今後の良い人生の中で必ずプラスに作用すると確信しています。さらには今後、この船上研修で得たものを少しでも多くの人に伝え、自分を取りまわりのすべて、家庭、地域、自分の勤務する会社が明るく豊かなものになるように、少しでも力になればと考えています。本当にありがとうございました。



一般乗船者 鈴木利枝さん(浜松信用金庫)

今回この研修に参加させていただき多くのことを学び、気づきを得ることができました。高校3年生をぎゅっと詰め込んだような時間。多くの研修をはじめ体育大会やフェスティバル、国際青年連との交流、台湾での寄港地活動、非日常的な空間の中で普段味わえない体験ができたこの8日間はとても貴重であり、充実した日々でした。その中で普段当たり前のことだと思っていたことと、なにに大切に思っていることに気づくことができました。日本人であること、日本国の誇り、おもしろい心、ありがたみの感謝の気持ち、自分を取り巻く環境の原因はすべて自分にあるということ、自分からいよいよスタートを出せば相手からも気持ちの良いスタートが返ってくる。相手は自分を羨望する者であるということ、普段何気なく通り過ぎていくことに少し立ち止まって、改めて考えるきっかけになりました。この体験は今後の自分にとって大きな糧となり、色々な所で活かしていきたいと思っております。このような機会をおたえていただき本当にありがとうございました。